

第 36 回 日本公民教育学会全国研究大会（筑波大会）のご案内
（第一次案内）

大会テーマ：当事者意識を高める公民教育の在り方

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 36 回全国研究大会を開催させていただきます。本大会では、大会テーマを「当事者意識を高める公民教育の在り方」としました。当事者意識の視点より、これからの公民教育の在り方、公民授業づくりの方法について、多くの参会者と協議したいと思います。

近年「当事者意識（オーナーシップ）」という言葉に注目が集まっています。学習指導要領改訂に向けた動きの中で「論点整理」（文部科学省中央教育審議会教育課程企画特別部会、2025）でも、「当事者意識を持って、自分の意見を形成し、多様な他者と対話や合意を図る取組」という一文が記されました。児童生徒に学びのオーナーシップを感じさせることは、主体性を引き出すことへとつながり、公民教育に限らず、すべての教育活動で重視すべき観点です。

しかし、公民教育で扱う当事者意識には、この他にも重視すべき観点があります。それは「社会参加」です。現代社会は、急速なグローバル化、少子高齢化、ICT 化などの影響から、複雑な社会課題に直面しています。そのため、市民一人ひとりに、社会の構成員として自らの役割や責任を自覚して、社会課題の解決に主体的に関わる力が求められます。こうした状況下で、公民教育にも変革が求められます。単なる知識や概念の習得に留まらず、社会課題を自分事として捉え、対話や協働を通して課題解決に向けて社会参加していこうとする意識、そうした当事者意識を高める公民教育が今日必要とされているのです。子ども・若者を中心に社会参加意識の低さがたびたび指摘される中で、公民教育がこの変革にどう対応できるか、対応すべきか、多くの知恵と努力が必要とされます。「当事者意識を高める公民教育の在り方」について、理論や実践の両側面より議論を深め、これからの公民教育を、本大会で皆様と共に展望できたらと思っております。

多くのご発表・参加の申し込みをいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

2026 年 2 月 吉日

日本公民教育学会会長・第 36 回大会実行委員会委員長 唐木 清志

記

1. 期 日 2026 年 6 月 28 日（日）
2. 会 場 筑波大学（茨城県つくば市天王台 1-1-1）
3. 主 催 日本公民教育学会
4. 後 援 茨城県教育委員会、つくば市教育委員会、筑波大学人間系（予定）
5. 日 程

8:30	9:00	11:30	12:30	13:15	13:30	14:15	14:30	16:30
受付	自由研究発表	理事会	総会		基調講演		課題研究発表	

《基調講演》

当事者とは誰かを問い直し、公民教育で育てる当事者意識と市民性を再構築する

講演者：桑原敏典（岡山大学）

趣旨：当事者意識を育てることは、公民教育だけではなく学校教育全体の目標としてもよく掲げられます。同様に、「自分事として考える」ということも目標とされることが多くなっています。しかし、授業においてなすべきことは、本当に、社会課題（問題）の当事者に成り代わって、あるいは代弁者となって社会に参加する人を育てることなのではないでしょうか。当事者意識を育てることが問題なのではなく、授業における当事者とは誰のことか、当事者としての社会参加とは何かということが問題なのではないでしょうか。

《課題研究発表》

課題研究1：多様性の理解を通して当事者意識を高める公民教育の在り方

コーディネーター：坪田益美（東北学院大学）、中原朋生（川崎医療福祉大学）

趣旨：「多様性の尊重」や「多文化共生」を促すための教育は、ややもすると、「他人ごと」にとどまり、その結果「きれいごと」に終始しがちです。本分科会では、「他人ごと」では終わらせず、「自分ごと」としてその困難さと必要性に向き合うよう促すための公民教育の在り方について検討します。

課題研究2：論争問題の議論を通して当事者意識を高める公民教育の在り方

コーディネーター：中平一義（東洋大学）、吉村功太郎（宮崎大学）

趣旨：近年の学校教育において論争問題をどのように議論として扱うかは、当事者意識の育成という点で重要な課題です。論争問題に対話的に議論することは、社会問題を自分事として捉える契機となる一方、教員には安心して議論できる学習環境を整える役割が求められます。本研究では、公民教育におけるその在り方を理論と実践の両面から議論を深めます。

課題研究3：地域課題への関与を通して当事者意識を高める公民教育の在り方

コーディネーター：井上昌善（愛媛大学）、真島聖子（愛知教育大学）

趣旨：本課題研究では、①当事者意識を高めた子どもの姿とは、②それを実現する授業実践とは、③今後の公民教育推進のために必要なことは、という問いに対して登壇者に提案をしていただきます。それを基に、地域課題への関与を通して当事者意識を高めるための授業開発の視点や方法について議論を深めます。

6. 参加費（納入方法は「8.」「9.」を参照）

事前納入（参加費のみ）：2,500円

事前納入（参加費、弁当・飲み物含む）：3,500円

当日納入（参加費のみ）：3,000円

7. 今後の日程

大会参加申し込み・参加費事前納入開始	2026年3月2日（月）
自由研究発表申し込み締め切り	2026年4月17日（金）
発表要旨原稿提出締め切り	2026年4月30日（木）
大会第二次案内（プログラム発送）	2026年5月29日（金）（予定）
大会参加申し込み・参加費事前納入締め切り	2026年6月12日（金）
大会当日	2026年6月28日（日）

8. 大会参加申し込み・参加費事前納入 締め切り：2026年6月12日（金）

- ・大会 HP（「12.」参照）にアクセスしていただき、「大会参加申し込みフォーム」に必要事項を入力し、送信してください。なお、郵送や電話での申し込みはできません。
- ・大会参加申し込みフォームの送信とともに、参加費事前納入（クレジット決済）を済ませてください。フォームの送信のみでは、参加申し込みは完了していません。なお、クレジットカード決済が難しい方は、大会メールアドレス（「12.」参照）宛に、ご連絡ください。
- ・参加費の事前納入（クレジット決済）による領収証の発行日は、決済日となります。この日付を、後から修正することはできませんし、領収証の再発行もいたしません。特定の日付、例えば、4月1日以降の日付の領収証が必要な方は、参加費の事前納入（大会参加の申し込み）の日付を改めて確認した上で、お申し込みください。
- ・大会当日の参加申し込みは、大会会場受付でお願いします。参加費の納入は、現金のみです。ただし、大会当日の参加申し込みは、発表要旨集を確保することができないなど、不利益を被る可能性がありますので、できるだけ、事前の参加申し込みにご協力ください。
- ・弁当・飲み物の申し込みは、大会当日には行えません。

9. 昼食（弁当・飲み物）申し込み・昼食代事前納入 締め切り：2026年6月12日（金）

- ・大会参加申し込みの際に、昼食（弁当・飲み物）を申し込むとともに、参加費事前納入（クレジット決済）の際に参加費と昼食代（弁当・飲み物代）を一緒にお支払いください。

10. 自由研究発表申し込み 締め切り：2026年4月17日（金）

（1）申し込み方法

- ・大会 HP（「12.」参照）にアクセスしていただき、「自由研究発表申し込みフォーム」に必要事項を記入し、送信してください。なお、郵便や電話での申し込みはできません。
- ・必ず大会参加申し込みを済ませてから、自由研究発表を申し込んでください。
- ・自由研究発表の申込者は、共同発表の場合も含め、会員に限ります。共同発表の場合、発表者全員が会員であることが申し込みの条件となります。
- ・自由研究発表の申込者は、2025年度年会費を2026年3月末までに納入してください。2025年度年会費が未納の場合、自由研究発表への申し込みはできません。
- ・自由研究発表の申込みのために新規入会を希望される方は、別途ご連絡ください。

（2）発表時間

- ・発表20分、質疑10分の合計30分です。

（3）発表資料及び発表方法

- ・発表時に必要なPC、発表資料、配布資料は、ご自身でご用意ください。
- ・会場ではプロジェクタと接続ケーブルを用意しますが、HDMIでの接続のみとなります。変換アダプターが必要だと考えられる場合には、各自で持参してください。
- ・配布資料がある場合には、発表当日に40部をご用意ください。

11. 発表要旨原稿提出 締め切り：2026年4月30日（木）

（1）書式

- ・A4判用紙1枚。
- ・上下左右25ミリ空け、文字数42、行数42、明朝体10.5ポイントでお願いします。
- ・テーマ、氏名（所属）で6行とり、「はじめに」などの本文は7行目から、段組みは1段です。

- ・大会 HP にテンプレートを掲載しています（「12.」参照）。
- （2）提出方法・提出先
- ・大会 HP（「12.」参照）にアクセスして、「原稿提出フォーム」から、PDF ファイルと Word ファイルの 2 種類をご提出ください。その際ファイル名は、PDF ファイルも Word ファイルも、「発表者のお名前（代表者 1 名）_発表題目」としてご提出ください。
- ・発表要旨を提出する際には、Google アカウントへのログインが必要です。各自で Google アカウントへログインしたうえで原稿をアップロードしてください。
- ・フォームより提出できない場合は、大会メールアドレス（「12.」参照）宛、ご連絡ください。

12. お問い合わせ

日本公民教育学会第 36 回全国研究大会（筑波大会）実行委員会

筑波大学人間系（教育学域）

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

大会メールアドレス：jsce36.tsukuba.office@gmail.com

第 36 回日本公民教育学会全国研究大会（筑波大会）

ホームページのご案内



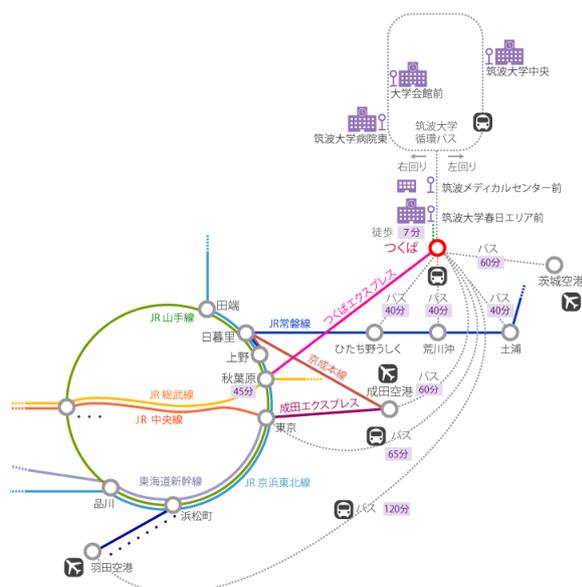
<内容> 大会のお知らせ、各種フォーム等を掲載しています。

<URL> <https://tinyurl.com/2026tsukuba>

13. 会場へのアクセス

筑波大学キャンパス案内 <https://www.tsukuba.ac.jp/access/>

会場：筑波大学・筑波キャンパス・中地区・第二エリア・2A 及び 2H 棟



【筑波大学 交通アクセス案内】

1. つくばエクスプレス (TX) をご利用の場合

- ・「つくば駅」下車、隣接するバスターミナル「つくばセンター」を利用。
- ・6 番乗り場より「筑波大学循環（右回り／左回り）」に乗車（約 15～20 分）。
- ・下車バス停：「筑波大学中央」または「第 2 エリア前」

2. JR 各線をご利用の場合

- ・各駅から「つくばセンター」行きバスに乗車し、6 番乗り場で「筑波大学循環」に乗り換え。
- ・下車バス停：「筑波大学中央」または「第 2 エリア前」

3. お車でお越しの場合（常磐道利用）

- ・桜土浦 I.C. 下車、つくば方面へ左折。
- ・大角豆（ささぎ）交差点を右折。
- ・県道 55 号線（東大通り）を北に直進。
- ・「筑波大学中央」入口を左折（本部棟前まで約 8km）。